

## 知事との県民対話集会（豊丘村）概要

- ・開催日時 令和4年12月2日（金） 午後1時30分から午後3時まで
- ・会場 豊丘村交流学習センター ゆめあるて 大ホール
- ・参加者 県民40名、下平豊丘村長、阿部知事、丹羽南信州地域振興局長
- ・テーマ リニア開業を見据えた村づくり

### ・主な発言（要旨）

#### 【参加者】

・リニア工事の事故はあってはならないが、事故により長期間工事中断となることには疑問を持っている。県の対応が厳しいのではないかと。工事が早期に完了するよう県からもJR東海に言ってほしい。

#### 【知事】

・JR東海の社長には、地域の理解と協力なしには工事は進まない、会うたびに伝えている。  
・工事は何より安全第一。いたずらに延ばすことがいいとは思っていない。事故原因等を把握した上で進めてもらうことが重要。

#### 【参加者】

・リニアが開業すると、東京まで45分、大阪まで1時間以内。こんな場所は他にはない。開業によってどれ程発展するか期待している。  
・JR東海に対し、豊丘に「リニア博物館」の設置を要望している。県からも後押しを。

#### 【知事】

・首都圏との距離的感覚は今とは全く違うものになる。地域の皆さんがどういう地域にしたいかが一番重要。協力してやっていきたい。  
・博物館の話は初めて聞いたが、これまでも地元の皆さんの声を受け止め、JR東海には伝えている。そういう声を村からも上げていただきたい。

#### 【参加者】

・当地域は県立施設が少ない。スポーツ施設や芸術的な施設等を誘致してほしい。中京方面からの合宿等で採算が取れると思うし、交流人口も増えると思う。

#### 【知事】

・人口減少の中、施設設置に当たっての県のスタンスは集約化。南信州地域のコンセプトを地域でまとめ、県の役割が明確になった上で、県全体のコンセンサスを得ることが必要。

#### 【参加者】

・ヤード等リニア工事の跡地として開けた地域ができる。これを観光や移住・定住などに有効活用してほしい。

#### 【知事】

・活用した方がいいと思うが、どのような形や仕組みで活用するかは地域で考えてほしい。

#### 【参加者】

・この地域は学術都市等の整備を進めるのがいい。東京から45分で行けるつくば市と似た環境にある。学生の流入や企業立地、商業分野の発展が期待できる。県も後押しを。

#### 【知事】

・地域の皆さんが、この地域をどうしたいか集約して、地域のコンセプトを真剣に議論しなければいけない。地元から声を上げていただき、一緒に考えることが必要。  
・大学も経営しているので、高等教育機関の地方への誘致は、本気でやらないと進まない。

**【参加者】**

・リニアの駅ができるのは飯田市。豊丘村はサテライトの役割を担うことになる。小さな自治体だからこそ期待できることはあるか。

**【知事】**

・これからの地域をどうするかということを考える単位としては、町や村の規模はやりやすいと思う。このチャンスをどう生かすのか、小さな町・村こそ大きな転換をしやすいと思うので、議論してほしい。

**【参加者】**

・リニア開業により名古屋や東京は近く、長野市（県庁）は遠くなる感覚。県と南信州の関わりはどうなっていくと感じているか。

**【知事】**

・長野県は他県のように県庁所在地中心ではなく、見据えている大都市がばらばらで、他県と比べると県全体でまとまるのが難しい県だと思う。  
・市町村数が多いので、他県と比べると現地機関にも多くの職員を配置している。集約すべきところは集約し、地域の皆さんと県と一緒に考える業務は地域（現地機関）の機能充実を考えないといけない。

**【参加者】**

・里山の景観はこの地域の宝。里の田畑は高齢者によって保たれているが、今後も維持できるか心配。  
・景観維持のため、県独自の農山村への景観補助のようなものができるか。

**【知事】**

・農地に限らず、住宅や道路、森林なども景観。景観保全は行政だけではできないので、全体でどう支えるのか、担い手の確保も含め、地域の皆さんと一緒に考えたい。

**【参加者】**

・農地が山に還り、農家が減っている。農家を育てるためには、資金面、技術面の支援が必要。

**【知事】**

・グローバルな視点で見ると農業は成長産業。日本の農作物は品質がよく評価が高い。県内でも誇りを持って頑張っている若者が多くいる。課題はあるが、ポジティブにどう変えていくか、皆さんと一緒に取り組んでいきたい。

**【参加者】**

・持続可能な地域とするため、地域で子どもを育て、外からも若者を呼べる特色のある学校づくりができないか。

**【知事】**

・若い人たちに地域に住み続けてもらうには、高等教育を含めた学びの場の充実は不可欠。学びの選択肢を増やすため教育委員会とも連携するので、地域からも特色のある具体的な提案をしてほしい。

**【参加者】**

・女性の社会進出と子育てのバランスが気になる。起業する女性、夜勤のある女性が働きながら出産し、子育てに前向きになれる施策を県に取り組んでほしい。

**【知事】**

・ヨーロッパと比べ、日本は家族に対する財政支援が少ない。子どもには手厚い行政の施策が必要。担い手や携わる人の確保も含めて、様々な働き方をしている女性がいることを念頭に考えたい。